

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	三ツ池公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・石勝エクステリア・サカタのタネGSグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横浜川崎治水事務所)

評価項目					審査(評価)の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1)	指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	5	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として「安全、快適な利用空間の提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」「三ツ池公園を再生し、県民の貴重な財産として将来にむけて継承」に取り組む。	・提案通り実施した。 ・見通しの良い樹林地の創出による安全快適な利用空間の提供がなされるなど、将来に向けた取り組みを実施した。	・今後も樹林地の適正な管理等を行うことが望まれる。	○	○	○ 月例報告聞き取り
						公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「人々が集い、活動×交流の拠点となる公園」を掲げ、「水とみどり」と花の保全と美しい景観づくり「活動の拠点づくり・交流の場づくり」「安全・安心と防災機能の確保」に取り組む。	・提案通り実施した。 ・園長が協働コーディネータとして、行政・企業・ボランティア団体との関係構築に努めるなどを実施。	・今後も人々の活動拠点となり、また、防災機能の確保を行うなど、積極的な取り組みが望まれる。	○	○	○ 月例報告聞き取り
						利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	・提案通り運営した。 ・利用満足度調査や常設アンケートを実施し、利用者の声を管理運営に反映させた。	・今後は、「三ツ池公園との楽しいおつきあい企画会議」の運営の充実など、より利用者の声を反映させた運営に努めてもらいたい。	○		○ 聞き取り
						業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等(委託先の選定方法、県内(地域)企業への委託の考え方)	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注を優先する。	・提案通り実施した。 ・発注が必要な業務のうち可能なものについては、県内企業への発注を行った。	・今後も適切な発注を行うことが望まれる。	○		○ 聞き取り
	(2)	施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	9	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の特性と課題を踏まえ、樹勢低下がみられる桜については、学識経験者をアドバイザーとした「三ツ池公園桜樹等再生会議(仮称)」を設置し、保全と再生に向けた「未来につなげる桜樹再生計画」策定による中長期的な樹木管理を進める。	・提案通り実施した。 ・桜の再生に向け、学識経験者をアドバイザーとした「三ツ池公園桜樹等再生会議」を設置し、学識経験者や利用団体から意見を聴取し計画策定を行った。	・今後も会議の運営を行い、その検討結果を踏まえ、適切な樹林地管理を行うことが望まれる。	○	○	○ 月例報告
						施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 施設の老朽化に対し、定期点検・法定点検や日々のパトロール、施設管理台帳の作成やモニタリング等を通じた、施設の劣化箇所・危険箇所の早期発見と速やかな修繕、計画的な維持補修等により、安全安心の確保及び施設の長寿命化を図る。	・提案通り実施した。 ・テニスコートの人工芝の部分的補修を行うなど利用者サービスの向上、定期点検・法定点検等実施した。	・今後も施設パトロールを充実し、安全安心の確保に努めてもらいたい。	○		○ 月例報告
						清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 維持管理基準に沿った適切な清掃に加え、繁忙期は利用状況に応じて清掃頻度を高め、トイレや水の広場等では、きめ細かな清掃により、快適で衛生的な利用環境を提供します。 ○ スタッフ全員が、利用案内、利用ルールの指導相談に加え、見所情報なども発信し、本公園の魅力が最大限満喫できるように、おもてなしの心をもってお迎えする。 ○ 公園の周囲には、小中高等学校、保育園や幼稚園が数多くあるため、地域一体となった防犯の強化や見通しの確保など犯罪が起こりにくい環境を維持する。	・提案通り実施した。 ・駐車場の渋滞対策や出口の混雑緩和のための料金徴収補助を行い、近隣住民への負担軽減策に取り組むなどを実施した。	・今後も、きめ細かな清掃により、快適で衛生的な利用環境の維持に努めてもらいたい。 ・引き続き、駐車場の渋滞対策等、近隣住民への負担軽減策の実施を期待する。	○		○ 月例報告
	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 高木化・密生化が進行する樹林地については「樹林地保全管理計画」を策定し、計画的で、持続可能な樹林地を目指すとともに、「HANATOMOプロジェクト」等による園芸文化の普及を図る。	・提案通り実施した。 ・樹林地保全管理計画の策定に向け「三ツ池公園桜樹等再生会議」を立ち上げた。 ・市民参加による花植えを実施した。	・今後も「HANATOMOプロジェクト」については、より活発な活動に努めてもらいたい。	○		○ 月例報告
						公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	○ 「自然と人の交流」「人と人との交流」「国際交流と異文化交流」を享受できるイベントの開催や、池を活かしたエクササイズなどの展開により、ユニバーサルなサービスを充実させ、年間を通じ、年齢や障がいの有無や程度、国籍などに関わらずだれもがいつでも公園の魅力を楽しめる利用を促進する。	・提案通り実施した。 ・コリアマダンへの協力を行うなど、国際交流の促進を行った。	・今後も国際交流や異文化交流に向け、積極的な取り組みが望まれる。	○		○ 月例報告

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)					
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(4)	事故防止等安全管理	災害への対応 (事前、発生時)	5	5	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	・提案通り実施した。 ・時点ごとに県に状況報告を行うなどを行った。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り	
						公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って、迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成団体の公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動体制を図る。	・提案通り実施した。 ・緊急参集訓練などを実施した。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り	
						大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 広いオープンスペースがあり、広域避難場所と広域応援活動拠点に指定されていることから、大規模災害発生時には、住民の避難の他消防救助隊等の受入れなどが求められるため、公園及び地域の防災力の強化に向けて、日頃から利用者や近隣施設と協働で防災訓練などして連携を深める。	・提案通り実施した。 ・防災訓練などを実施した。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り	
	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	5	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 現在の地域団体とのつながりを活かしつつ、「鶴見人ネット」「鶴見国際交流ラウンジ」「かながわ国際交流財団」など、地域の団体や人材を積極的に活用することで、公園への愛着や親近感を高め、生きがいづくりや、コミュニティの繋がりをさらに強めていく。	・提案通り実施した。 ・鶴見人ネット登録者を講師に採用するなどを実施した。	・今後も多様な団体等と積極的な交流を図り、公園への愛着を高める取組の実施が望まれる。	○		○	月例報告	
						ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ グループ代表が定めているボランティアとの協働の方針や、活動支援内容を盛り込んだ「公園ボランティア要綱」により、多くのボランティア参加ができる環境づくりを進めるとともに、「三ツ池フレンズ制度」の導入により、市民参加型の利用促進を図る。	・提案通り実施した。 ・ボランティア団体との連携や協働の取り組みを実施した。	・今後も、ボランティア団体との連携・協働の取り組みを積極的に実施されることが望まれる。また、「三ツ池フレンズ制度」の導入に努めてもらいたい。	○		○	月例報告	
						周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 公園近くにサイクルコースがあり、パークセンター前にスタンドを設置するなど、サイクルスポーツの拠点化を図る。また、流域のネットワーク形成に向け、広域的な鶴見川沿川自治体の施設との連携を促進する。	・提案通り実施した。 ・京浜河川事務所と連携し、鶴見川PRパンフレットを配架するなど、流域レベルの交流の関係づくりを進める。 ・流域のネットワーク形成に向け、鶴見川ネットワークとの連携などを実施した。	・今後も多様な団体等と連携を図ることが望まれる。	○		○	月例報告	
						地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 業務委託を行う場合には、今後も地域企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターや社会福祉法人、NPO 法人等の地元非営利団体への業務委託にも配慮し、地域と連携した魅力ある公園づくりを行う。	・提案通り実施した。 ・発注が必要な業務のうち可能なものについては、県内企業への発注を行った。	・今後も、地域企業や地元非営利団体への業務委託等への配慮を行い、地域と連携した魅力ある公園づくりに努めてもらいたい。	○		○	聞き取り	
	III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	・提案通り実施した。 ・個人情報保護規定などの各種規程類を整備した。	・提案書のとおりに適切に運営されている。 ・引き続き、コンプライアンス研修や就業規定の適切な運用等の実施を期待する。	○		○	聞き取り
							指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	・提案通り実施した。 ・サクラの更新や樹林地管理を行った。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り
							法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、神奈川県公園協会とサカタのタネGSは法定雇用率を達成している。石勝エクステリアは法定雇用率を達成していない。 ○ 石勝エクステリアは、今後の障害者の採用予定について、現在人材派遣会社を通じた採用活動を行っており、屋外軽作業や事務補助業務の要員を想定している。	・障がい者雇用の拡大に向けて、採用活動等の環境整備に取り組んでいるが、障がい者雇用は1.5人の不足となり、法定雇用人数の充足には至っていない。	・今後は雇用促進の取組を進めるなど、速やかに基準を充足するよう努めてもらいたい。			○	聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）				
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組む。	・提案通り実施した。 ・職場内研修などを実施した。	・引き続き、障がい者が安心して利用しやすい環境づくりに努めるとともに、研修等の実施を期待する。	○		○	聞き取り
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	・提案通り実施した。 ・研修などを実施した。	・今後も聴覚障がい者が利用しやすい公園とするための取り組みを実施することが望まれる。	○		○	聞き取り
						社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○ 以下について、取り組む。 ・公園の適切な管理運営による機能の発現とそのプロセスでの地域連携 ・地域のふれあいと健康づくりとしての場の開放（運動施設の適切な運営、広場等の地域に開かれた有効活用） ・男女共同参画、障がい者雇用の促進等 ・自然環境を活用した環境学習等の開催 ・屋上緑化、壁面緑化の持続的管理、光熱水費等の省エネ ・ESGに取り組む企業からの物品等の買い入れ、グリーン購入等 ・生物多様性保全、樹林地の適切な植生管理、土砂災害等の防止 ・地域とのパートナーシップによる公園運営	・提案通り実施した。 ・生物多様性に配慮した樹林地や池の管理等を行った。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行している。	・提案内容のとおり（業務の基準及び提案書のとおり）適切に運営している。引き続き、重大な事故や不祥事を起こさないよう努めてもらいたい。	○		○	聞き取り
						個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	・提案通り実施した。 ・個人情報保護規程の整備を行った。	・今後も、提案通り実施されることが望まれる。	○		○	聞き取り

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	三ツ池公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・石勝エクステリア・サカタのタネGSグループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課(横浜川崎治水事務所)

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
下ノ池付近状況	プール管理棟
	
「コリアマダン」の様子	コリア庭園